

在宅医療概論	在宅医療概論		
--------	---------------	--	--

科目番号	A-5	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	長崎国際大学	教養・専門の別	教養
		単位数	2単位
開講期間	平成29年 5月13日(土)～ ～平成29年 6月10日(土)	曜日	土曜日
		時限	1時限目・2時限目・3時限目
開講時間	下記の通り 「毎週土曜日」	授業定員	240人 (うち単位互換定員240人)
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項		試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 5月13日	在宅医療に係わる多くの専門職と専門職連携の重要性	大磯 茂 (長崎国際大学薬学部)
② 5月13日	在宅医療における薬局薬剤師の役割	徳永 修 (あんず薬局)
③ 5月13日	在宅医療における医師の役割	太田 一寿 (長崎国際大学薬学部)
④ 5月20日	在宅医療における歯科医師の役割	疊屋 文人 (佐世保市歯科医師会)
⑤ 5月20日	在宅医療における看護師の役割	越智 幸代 (佐世保市医師会訪問看護ステーション)
⑥ 5月20日	在宅医療における薬剤師の役割	七嶋 和孝 (ななし薬局)
⑦ 5月27日	在宅医療における管理栄養士の役割	林 俊介 (長崎国際大学健康管理学部)
⑧ 5月27日	在宅医療における地域包括支援センターの役割	長塚 弘章 (相浦地域包括支援センター)
⑨ 5月27日	在宅医療における地域医療連携室の役割	永田 敬博 (佐世保共済病院)
⑩ 6月3日	在宅医療における調剤と薬の知識	仮屋 博子 (長崎国際大学薬学部)
⑪ 6月3日	在宅医療における緩和ケアの知識	山田 勝士 (長崎国際大学薬学部)
⑫ 6月3日	在宅医療における行政のサポート	藤田 利枝 (長崎県県央保健所)
⑬ 6月10日	在宅医療におけるヘルスカウンセリング	本 康剛 (佐世保中央病院)
⑭ 6月10日	在宅医療におけるPT,OT,STの役割	井手 伸二 (長崎リハビリテーション病院)
⑮ 6月10日	在宅医療におけるケアマネージャーの役割	鷲峯 志保 (まつお内科医院)

連絡先 長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020

(科目内容) 本講座は、長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学、自治体、保健・医療・福祉系の職能団体とNPO法人が連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」が開講する。講座の目的は、将来、在宅がん医療や緩和ケアを多職種協働で実践できるよう専門職の人材育成である。
 【在宅医療概論】では、在宅医療に必要な基礎知識を学ぶとともに、連携する専門職種との役割と情報の共有について理解を深めるため各分野の専門家を招いたオムニバス形式で開講する科目である。

学生の感想・
教員のコメント等

【受講生の感想】
 高齢化社会が進むとこれからの日本社会がどうなっていくのかということや、医療を考える際に医療従事者がどれだけ重要になってくるかを学ぶことができました。(薬学生)
 これから日本は高齢化社会がより進んでいき、若者が減っていく中で自分の専門職としての役割を考えることが出来る講義となりました。(薬学生)
 在宅医療の必要性について改めて知ることができ、また、新しい知識も得ることができました。(社会福祉学生)
 在宅医療の目的、現状、これから何が必要なのかがよくわかりました。特に家族のQOL向上も目的としているということが印象に残りました。患者さんだけでなく家族の人たちとの交流も大切にしていこうと思いました。(薬学生)



科目名	くすり最前線 -最新医療から薬物問題まで-		
科目番号	A-10	開設大学名	長崎国際大学
開講場所	アルカスSASEBO 3階会議室	教養・専門の別	専門
		単位数	2単位
開講期間	平成29年9月22日(金)～ ～平成30年1月19日(金)	曜日	金曜日
		時限	6時限目
開講時間	19時00分～20時30分(90分) 「毎週 金曜日」	授業定員	90人
		履修年次	1年次以上
実習費等	なし	選考方法	書類選考
その他特記事項	11月3日(金)・12月15日(金)・29日(金)を除く	試験・評価方法	出席・レポート等により総合評価

開講日	講義名	担当教員
① 9月22日	がん —抗癌剤治療の進歩と現状—	小川由起子 微生物薬品学
② 9月29日	がん —プレジジョンメディスン:オーダーメイド医療が現実のもの—	和田守正 分子生物学
③ 10月6日	エイズ —AIDSは完治できるのか—	深澤昌史 ウイルス学
④ 10月13日	自己免疫性疾患 —免疫システムの反乱—	岸原健二 免疫学
⑤ 10月20日	薬剤耐性菌 —くすりが効かない恐怖—	黒川健児 細胞生物薬学
⑥ 10月27日	寄生虫にまつわるエトセトラ —今、なぜ寄生虫が注目される?—	小林秀光 微生物学
⑦ 11月10日	放射線って怖いですか? —放射線災害と医療被曝について—	高井伸彦 薬品分析化学
⑧ 11月17日	エコノミークラス症候群 —血液検査でわかる血栓症体質—	隈博幸 臨床検査学
⑨ 11月24日	ヒト常在菌のパワー —美と健康を保つヒトと共棲する菌—	榊原隆三 生化学
⑩ 12月1日	「トクホ」って何だろう? —特定保健用食品と医薬品の違い—	長岡寛明 衛生化学
⑪ 12月8日	香りの化学 —においがもたらす影響について—	佐藤博 環境毒性学
⑫ 12月22日	天然物からの創薬 —新薬開発への挑戦—	宇都拓洋 薬品資源学
⑬ 1月5日	痛い痛い飛んで行け! —「熱冷まし・痛み止め」の効く仕組み—	山口拓 薬物治療学
⑭ 1月12日	薬物乱用の危険性 —危険ドラッグの何が危険なのか?—	山本経之 薬理学
⑮ 1月19日	スポーツファーマシスト —薬剤師のアンチ・ドーピング活動—	仮屋菌博子 医療薬学

連絡先	長崎国際大学 教務課 TEL 0956-39-2020
<p>(科目内容) 現代産業における医薬関連分野の進歩は、情報技術(IT)関連分野と並んで著しいものがある。かつての”不治の病”も、その多くが克服されようとしている。最新の医療にとって欠かせない道具として医薬品がある。「医薬品」とは厚生省から承認された治療薬、診断薬及び予防薬に他ならない。それでは、「薬物」という言葉はどうだろう。「～依存」や「～汚染」、麻薬・覚醒剤、ドーピング等、負のイメージを想起することも少なくない。一般社会においては、有益な治療薬も有害な覚醒剤も「くすり」と呼ばれることが多い。本講義では、このような「くすり」に機能食品や医薬部外品等も加え、人の健康にまつわる最新情報について分かり易く解説する。これらの情報をもとに、受講生は自らの健康について強く意識すると共に、医療に関する社会問題等について深く考察することができる。</p>	

学生の感想・
教員のコメント等

本講義は、くすりの最新情報について、薬学部の専任教員が分かり易く講義します。薬学に興味のある方は是非受講してみてください。

